



定額 一部五元 二部十元 三部十五元 四部二十元 五部二十五元
 日曜 祭日 休刊
 行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

救護法に就て [五]

平町共済委員 辯護士 門傳清吾

第三、右説明の通り、被保護者の範囲は略に諒解し得ると思ふが、前述の第二條に依りて、更に制限を受けるのである。即ち救護を受ける資格條件を具備しても其者の扶養義務者ありて、其義務者が扶養し得る者なる時は、救護されない事である。夫れは當然の事である。救護法は此救護者を他に救護する者がなく、全く孤立無援の憐むべき者を救護して、本人をして發達を期するを目的とする趣旨であり、其精神は社會連帶或は相互扶助の人道的見地から發足したものであると同時に一方經濟上の制限があるから扶養し得る義務者が居る場合は其者をして扶助せしむるが余りに明瞭當然であるからである。唯此場合知らねばならぬのは「扶養義務」の觀念である。夫れは民法の所謂「扶養義務」を指稱するものであるから、其解釋に従ふべきである。即ち民法第九百五十日條に規定して曰く

直一系血族及び兄弟姉妹は互に扶養を爲す義務を負ふ
 夫婦の一方と他の一方直系尊屬にして其家に在る者との間亦同じとあるから其通りと心得てよいのである。扶養義務大なる場合は其義務を履行すべき順序は同順位のもの養義務者あるときは各其資力に應ずる義務を負担すること、扶養を受けることを得る者數人あるときは其扶養を爲すべき者の資力が全員を養ふべき順序、其他程度、範圍等に關する詳細の規定があるが、夫れ等の事を知らんとする場合は専門家又は市町村長、共済委員等から聴取すべきであるから、茲には之を省略することにす

第四、市町村長や關係者として参考として知らざるべからざる條項を左に述べると、本法に依り救護を受けたる者は公民権ありや否や
 右は選舉法の解釋上公

民権を喪失せりと解釋すべきである。但し救護を受けざるに至り選舉法に抵觸せざるに至りたるときは此限りでない
 外國では右の場合と雖も公民権を喪失することなしとして居る處が多いが事情を異にする日本では止むを得ないことで其可否に論及することを避くることとする
 二、外國人に對しても本法を適用すべきや否や、日本人に限る、外國人に對しては適用なしと解するを相當とする
 三、他の救貧の規定例は行路病者に對する規定、軍事救護法等との適用關係如何
 行路病者或は軍事救護法は特定の身分關係を有する特別法であるから其法律に該當する者は先づ其法律に依りて救護せらるべく本法は之を適用せざるものと解するを相當と思ふ
 四、行路病者として取扱ふべきか又は本法の被救護者として取扱ふべきやに付き疑義を生じたときは其病者を審訊して或は其病者を知れる他の者より聞取り決定すべきである

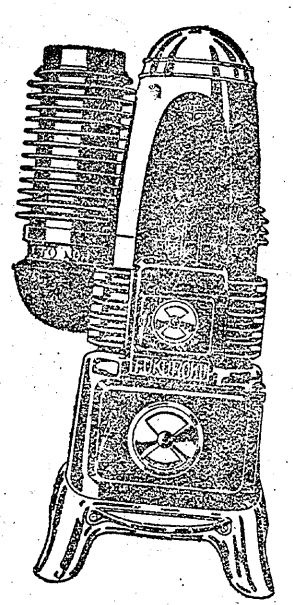
舌代
 晩秋の候皆々様には益々御清夢を上げます。扱て今般活動常設(有聲座)を「世界館」と改稱同時に私の經營となりました。元より斯界に無經驗の私なれど館の發展改革等に就ては朝夕心を砕いて居ります。既に伴奏器の裝置絶對安全防火設備映寫機の取付等其設備汲々として居りますが日尙淺く理想的に進む多難の事であり、要するに御ひびき皆様方の御同情に俟つ助の程偏に希上る次第有ります。何卒舊に倍し御指導と御援助の程偏に希上る次第有ります。謹白
 六年十一月二十日
 世界館主 鈴木寅次郎
 館名改稱 御披露特別興行
 東亞キネマ特作大時代映畫
 羅門光三郎主 演
 原 駒子演 風流殺法陣
 東亞キネマ現代劇、九務日報懸賞小説
 大九州行進曲 赤陽に映えて
 椿三四郎、青木 繁、岡田静江、鈴木京子主演
 新興キネマ超特時代劇押本七之助、監督
 市川百々之助 妖盜奇談
 大亂闘 劇
 二十日より 入場料(大人十錢 小人五錢)
 有聲座 世界館 壽々喜興行部
 改メ 電四四六・五十八番

毛糸 特賣デー

十一月廿六日ヨリ 五日間
 十一月三十日マデ
 防寒用太毛糸 一オンス 八錢
 スキー御毛糸 一オンス 十三錢
 一封度(十六オンス)以上御買上の方に
 賣出し期間中「最も新しい毛糸編物
 本」一部進呈
 平町田町 ハシモトヤ糸店

度量衡、計量器、吸入
 用酸素、酸素吸入器
 關内藥局
 電話四〇番

石炭經濟の理想的ストローブ
 フクロクストローブ
 に優るものなし
 立場より多年研究試験の結果
 それは石炭商の.....



ストローブ 御買上の際には是非御相談下さい
 カタログ持參御説明申し上げます
 電話二三三七番
 阿部石炭商店

福 德 生 命
 外務社員招聘
 經驗の有無に不拘ず
 奮闘家を望む
 希望者は履歴書持參御來談を乞ふ
 ◎内職にても差支へなし
 平町一丁目
 代理店主幹 比佐信太郎

セメント 磐城セメント株式會社
 壁用材料 代理店 西村屋藥舖
 コールタール 代理店 西村屋藥舖
 ペンキ塗料 代理店 西村屋藥舖
 板 ガラス 代理店 西村屋藥舖
 平町二丁目電三

悲風、弔旗にはためき 英魂とはに眠る

護國の鬼神中田伍長

けふ江名町葬行はる

既報——嫩江の戦に於て名譽の戦死を遂げた歩兵伍長石城郡江名町出身中田七藏氏の告別式は本日午後一時より同町小學校に於て町長を以て執行された中田伍長の死を悼む同町には各戸擧つて弔旗を樹て肅として

聲なき 校庭の正面に設けられた齋壇には白布を以つて包まれた遺骨を中心とし、五彩の花輪及び供物等處狭き迄に飾られその周圍には柳及び弔旗等樹立、定刻悲しく鳴り響く梵鐘を合圖に居並ぶ江名守彌氏以下の神官恭しく靈前に額つき嚴かに神祠を奏上、續いて香煙縷々として

昇ると 見れば導師永崎諒範師以下僧侶の讀經あり満場に歎歎の聲滿つ、斯くて先づ河野町長祭文を朗讀し續いて川崎知事、聯隊區司令官の莊重なる弔辭朗讀に次ぎ

伏見町村長支會長、樫村平警察署長、山崎在郷軍人分聯合會長、曾我聯合會、青訓所長、吉田在郷軍人分會長、振旗同町小學校長

其他の弔辭あり遺族代表實兄中田熊吉氏、親戚代表黒澤秀次郎氏を始め參列者一

同玉串を奉獻して

焼香を 了し午後三時半を以つて嚴肅な式を閉じ夫れより遺骨は同町青年團員に護られて先靈眞福寺に送られたが沿道兩側には同町小學生徒及び町民全部堵列して涙をのみつゝ行列の前に頭をたれて護國の鬼と化した中田伍長の尊き犠牲に満腔の熱謝を獻げ英靈永へに安らかなれと祈念をした

こひ、此の日

郡内は もとより縣下各地よりの參列者數多く海岸軌道は臨時車を繰り出して乗客を吞吐する程の慌しさであつたが朝來の愁雲低く垂れて沖の彼方より肌寒き悲風頻りに訪れ來り全町深く哀愁に閉ざれ少しも騷しさを感せしめず勇士昇天の日によさはしき情景を呈した

在滿軍人へ

赤誠の慰問かずく

各団体と協力し

平町青年團起つ

平町青年團にては滿洲に活躍する我が勇士の爲めに義捐金及び慰問品を募集すべく先般來協議中の處より平町役場、在郷軍人分會、婦人會、女子青年團等と協力全町に亘つて大々的に募集を開始する事となつた

訓盲院生徒

毎日の收得金から

平町訓盲院生徒三十余名は梅崎主事の訓話により第○師團が我が權益擁護のため

等慰問品として在滿派遣軍に贈ることになつた

片倉製糸職工 片倉磐城製糸工場では男女工三百七十余名は歩兵第○聯隊在滿兵のため慰問袋八百六十個を贈つた

繙帯二五〇卷 平町平産婆看護婦學校長清野きよ氏は繙帯二百五十卷入箱を歩兵第○聯隊軍醫部宛發した

湯本校女生徒 石城郡湯本尋常高等小學校五年生女生徒一同は少額宛小遣錢を醸出し金三圓六十二錢

米びつ失くなる

飲まず食はずの失業者

台所を覗いてツイ失敬

石城郡好間村字下好間上坂松藏方で廿三日午後四時頃夕食の用意に米三升をとき土間に置いたのを何者かに窃取されたので騒いであるうち一名の大工風の男が白米を持つて坑夫長屋を廻つてると聞き問もなく取押へ其筋へ突出したが同人は岩瀬郡須賀川町宇馬場東生れ柴田好次(音)と云ひ東京で失業したので郷里へ引上げる途中旅費も使ひ果し飲まず食はずに前記好間を通行した際悪心を起し前記白米を窃取したものであると

飲まず食はずの失業者

台所を覗いてツイ失敬

川春吉(音)同小泉樓妓夫安戸宗之助(音)の三名は二十日甲子樓方で現金がけ花札賭博を開張中平署員に踏込まれ一網打盡に檢擧された

軍醫、無慘の即死

泉驛附近の踏切で

旅客列車に轢る

石城郡泉村泉醫師二等軍醫佐藤直信(音)氏は昨廿三日午後一時卅二分頃同郡渡邊村へ往診の歸途自轉車にて常磐線泉驛構内の踏切を通過せんとした際折衝進し來つた下り旅客列車のため自轉車は大破し佐藤氏は

大腿部頭部等を轢斷され無慘の即死を遂げた

同踏切地点は平驛發午後一時二分上り旅客列車と一分の差をおいて平驛着過するたため佐藤氏は上り列車の通過のみを知つて進行し來つた下り列車の通過に氣付かず遂に不慮

婦女に暴行

犯人は鮮人

目下捜索中

昨二十三日午前十時頃石城郡上遠野村地内を通行中の東白河郡笹原村小峰釜藏三女みわ(音)假名は途中道伴れとなつた一名の鮮人のため同村木賃宿山口三藏方に連れこまれ暴行を加へられ犯人は何れへか逃走したことを其筋の探知することとなり目下各方面を捜索中である

自轉車泥

賣込中捕る

廿三日午後三時頃石城郡好間村字上好間山田自轉車店一名の職工風の男が新品の自轉車を賣込まんと交渉中を巡廻の爲め差懸つた平署員が怪しむ平署に引致取調ると同人は朝鮮忠成南道報恩郡生れ木下一郎事金萬甫(音)で廿二日平町鎌田町金成實方に立かけてあつた同人所有の自轉車を窃取したので此を賣込中であつたと自白したので目下除罪取調中である

カモチ屋の小僧

主人不在中盗む

石城郡小名町竹町生れ坂本竹一(音)氏は昨年中より平町南町カモチ屋安藤一三郎方に雇れ中であつたが東京へ出て働かうと廿三日主人の不在中主人所有衣類化粧品數打七十圓餘を金に替んと窃取したが夜九時頃鎌田町内平署員に取押られた

明日のラジオ

廿五日

報豫氣天

今夜は北東の風、曇り明日は北西の風、天気次第によくなる

今晚の部

- 後六、〇〇 童話劇「西行戻り松」仙臺兒童學藝協會
- 後六、三〇 英語講座 土井磯吉
- 後七、三〇 講演「歴史的考察に於ける人形芝居」石割松太郎
- 後八、〇〇 謡曲「通小町」
- 後八、四〇 連續講談「築

明日の部

- 前九、一〇 料理献立
- 前九、三〇 家庭講座

城間答天守閣一第二席 旭堂南院

- 後九、一〇 合唱「春の歌」
- 宮城女學校生徒「ピアノ」
- 獨奏 石田房子 今井恵子
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報

「草木染の話」(一)山崎斌

- 後〇、〇〇 五獨唱と管絃樂
- 歌劇「ファウスト」抜粋曲
- 其他 湯山光三郎 ヨロナ
- オーケストラ
- 後二、〇〇 家庭大學講座
- 寶生英重 外
- 論理學(下)中桐隆太郎
- 後六、〇〇 お話「坂田金一の生れたところ」古見一夫
- 後六、三〇 英語講座 村岡博
- 後七、三〇 講演「震災一週年に際して」一鶴澤憲
- 後八、〇〇 連續講談「築城問答天守閣」終席 旭堂南院
- 後八、四〇 義太夫「紙子仕立兩面鑑」竹本駒太夫

の難に逢つたもので植田署より係官出張檢視後死體を家人に引渡した

小説 七五郎

(九十二)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

謎の人 (2)
『お前さん、探偵の仕方が足りねえぢやないかね』
『障子を破つて覗くまでしたんだから澤山だんべい』
『覗いたのけえ、罪な事を……奥さんにめつかつたら大事だんべい』
『いやそれ位にしなけりや妖怪の正体が分るもんでほねえ、これがよ、こつちの推測とほり男でも引張り込んだちうなら、あんな遅い時間にはええ筈はねえからきつと泊まつたに違ひねえ泊めた者なら假令當人の寝姿は見えなくとも履物があるとか衣裳の脱ぎ殻があるとか、何にかしら眼につかなければならねえ理窟だ、ところがよ、そんな氣振のけの字もねえから不思議じゃねえか』

に置いて呉れ、戸締りも私にするから、と被仰るのよ、どうも平常の奥さんと様子が違つて訝かしいから、やつぱり高野さんの言つた通り、誰れか奥の方に隠れて居るのだとばかり思つて居たんだが……爺さん變だね』

に難ひ上る雲雀の行方を見上げた。
無音に仰向いてぢよきりと甘藍の莖を切り離した婆さん手に甘つたるい香を帯びた朝露がさつと降りかゝると、今出たばかりの太陽の光が庖丁一杯にキラ／＼とかけらいつた。
そこへ一人の女がやつて居た隣の娼どのが野良へ出掛る捷徑をこの別荘の畑の中に取つたのである。
『爺さん、お早う、お婆お早う、今日は』
『お、お辰さア、早えなア、あんだね、今日の仕事は』



『え變だ／＼と言つたて居ねんだもの何故にも仕方あるめい、人間は疑つたら際限がねえもんだ、お釋迦様も鬼のやうに見えるもんだなア』
『それはそうだけんどさ』
儀平爺さんは睡へ煙で空

儀平爺さんが挨拶すると『あにね、胡麻と胡蘿蔔をちよくら播いて來べいと思つて……もう遅れてゐるのだね』
と其の女は行きかけたがひよいと立ち止つて。
『お婆アさ、水京から奥

『あ、來て居なざるよ』
おみき婆さんが答へた『そうだんべえの、昨日ちらり見かけたものあの興さんは何時見ても綺麗な方だなア、化粧が上手だと云ふだか何んちうだか知んねえが、誰れの目にも四十近え人とは思はれねえ、みんながそう言つて居るだせあの女は化物だつて、オホ、』
『餘計な事を云ふなよ、奥さんの綺麗なのは今に始つた事ぢやないやな』
儀平爺さんは叱るやうに言つた
『徳だなア、あんな人は……それから若旦那も來て御座るかねえ』
『若旦那?』
儀平は聞きとがめて『來なさりやあしねによ』
『あれ』
不思議そうに。

さんが、ござつてゐるだけね』

『あ、來て居なざるよ』
おみき婆さんが答へた『そうだんべえの、昨日ちらり見かけたものあの興さんは何時見ても綺麗な方だなア、化粧が上手だと云ふだか何んちうだか知んねえが、誰れの目にも四十近え人とは思はれねえ、みんながそう言つて居るだせあの女は化物だつて、オホ、』
『餘計な事を云ふなよ、奥さんの綺麗なのは今に始つた事ぢやないやな』
儀平爺さんは叱るやうに言つた
『徳だなア、あんな人は……それから若旦那も來て御座るかねえ』
『若旦那?』
儀平は聞きとがめて『來なさりやあしねによ』
『あれ』
不思議そうに。

美味しくて。安いの。——
食物は……
これからの——
鳥小焼
電話二六八番
南町 鳥商 鳥菊

風味獨得な魚清のなへ類
例年の通り始めました

鳥なべ	御一人前	三十五錢
ちりなべ		三十錢
よせなべ		三十錢
ねぎなべ		三十錢
かきなべ		三十錢
はもなべ		三十錢
あんこなべ		三十錢

魚清食堂
出前も迅速にいたします
平町三丁目電話六三三番

内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町 電話五〇七番

十一月二十二日—二十六日

新築移轉謝恩大賣出し

粗品呈上
毎々御引立を頂き有難御禮申上ます就ては平素の御愛顧に報ゆるため謝恩大賣出しを催し格安品を豊富に提供致します何卒賑ます。御來店の程偏に御願申上

品仕奉別特	品めとつお
防オ子セオ	襟極大色モオ新
マオ子セオ	上子人セル毛朱
ント水バ供ロバ	上子人セル毛朱
...	...

かなや洋服店
平電 三〇二

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

新築移轉 矢吹醫院
内科 小兒科 花柳科
古鍛冶町 電話二六六番